

令和元年度 松本市公民館主事会 事業報告

1 公民館主事研修会

公民館主事研修会として全 21 回を開催し、延べ 589 人が出席した。各回の内容は次のとおり。

回	日時・会場	出席者	研修内容
1	4/11(木) 13:30～17:00 中央公民館	43	<p>テーマ：平成 31 年度 公民館主事会の運営等及び研修計画について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育長あいさつ（赤羽教育長） 2 自己紹介 3 平成 31 年度行財政運営と平成 31 年度中央公民館重点目標について（栗田中央公民館長） 4 協議事項・役員選出 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成 31 年度役員の選出及び事務局の任命 (2) 平成 30 年度主事会事業報告及び会計報告 (3) 平成 31 年度公民館主事会の運営等について 5 事務連絡 <ol style="list-style-type: none"> (1) 中央公民館事務分担表について (2) 平成 31 年度予算について（公民館管理運営費・単独学級等） (3) 平成 31 年度事業について（コミュニティスクール事業・食育事業等） (4) 町内公民館振興業務委託事務について (5) 市長会損害保障制度について (6) 公民館総合補償制度対応手順について (7) 防火管理講習について (8) 県公運協事業計画について (9) 長野県公民館主事研修会・総会について (10) その他 6 研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) テーマ 平成 31 年度公民館主事研修会で学びたいこと (2) 方法 ブロック毎、テーマに沿って話し合いを行った。 (3) 結果 今年度は 9 名の新任の主事が加わったことから、貸館判断の根拠となる法令・条例の学習や住民の声を吸い上げた公民館講座の作り方など、公民館主事の基礎をしっかりと固めるような研修を行っていくこと。また、コミュニティスクール事業への主事の関わり方を考えることや、地域の住民団体の活動を訪問し他地域の状況を共有することなど。このように話し合いで出された意見については、幹事会において検討し主事研修会計画に組み込む。
2	ブロック研修会	35	<p>テーマ：各担当回の企画内容及びブロックテーマ研究の内容について</p> <p>5 月から 10 月にかけて実施する主事研修会に係って、各ブロックでそれぞれの担当する回の企画内容を検討し、また、上半期に実施する各ブロックでのテーマ研究の内容について話し合う。</p>
3	5/16(木)～17(金) 下條村コスモホール あしたむらんど下条	延 28	<p>長野県公民館主事研修会・総会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 総会 平成 30 年度事業報告／令和元年度県公運協主事会規則の改正／令和元年度県公運協主事会役員の選出（新旧役員あいさつ）／令和元年度県公運協主事会活動方針／令和元年度県公運協事業計画 2 研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) 分科会 <ol style="list-style-type: none"> ア 第 1 分科会 「公民館に再び「賑わい」を」 各種公民館活動への参加者が減少している中、特に 60 代よりも若い世代も参加する「世代を超えて参加者が自ら集う公民館事業」を実施す

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>るためにはどうしたらよいかを考える。</p> <p>イ 第2分科会 「コミュニティづくりとしての公民館」 地域連携はコミュニティの醸成につながる。コミュニティづくりの中心としての公民館の役割と地域連携の重要性について考える。</p> <p>ウ 第3分科会 「「つながる！」学びを通じて、どのように繋がり、何を繋ぎますか」 子ども育成を核とした「つながり」と「学びのあり方」を4つの公民館の実践事例をもとに考える。</p> <p>エ 第4分科会 「地域の特性を生かした取り組み」 それぞれの地域が持つ特性を生かして行っている講座やイベントについて話し合い、それを実現可能とするために、公民館主事ができることや役割を考える。</p> <p>オ 第5分科会 「公民館入門」 公民館初任者を対象に基礎的な知識を学び、今の公民館に何が求められているのかを考える。</p> <p>(2) 全体会</p> <p>ア テーマ 「公民館で培われる自治体職員としての力」</p> <p>イ 聞き手 鈴木勇氣（飯田氏千代公民館） 話し手 浅井翼（上松町役場企画財政課企画政策係） 新井直彦（松川町役場まちづくり政策課まちづくり推進係） 大石真紀子（阿智村協働活動推進課）</p> <p>ウ 内容 公民館の経験を生かして行政の現場で頑張っているOBの皆さんを迎えて話を伺う。</p>
4	5/23(木) 13:30～17:00 城北公民館	25	<p>テーマ：貸館についての基礎学習</p> <p>1 趣旨 公民館事業の中で貸館は住民の学びや結びつき、健康増進といったものの根幹となる場である。社会教育法で規定されているとおり、社会教育施設であり、レンタルスペースやコワーキングスペースとは異なる目的で設置されている。しかしながら、利用者の中には、社会教育施設という理解が薄く、社会教育の理念とかい離する活動も報告されている。そのような中、地域の特性も鑑みながら各館に貸館の判断を委ねられている現状もある。 年度当初の主事研修会ということもあり、根本となる社会教育法、松本市公民館条例、松本市公民館条例施行規則を確認し、判断に迷うケースであっても、法令・条例に則た業務ができるようスキルを身に付ける。</p> <p>2 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 市民労力提供に対する原材料支給事業について（地域づくり課 柳本主査）</p> <p>(2) 「地域活動情報一覧」ホームページへの掲載について（地域づくり課 柳本主査）</p> <p>(3) 県事業について（長野県生涯学習センター 木下所長）</p> <p>3 研修</p> <p>(1) 貸館についての基礎（白板地区公民館 岩垂主任）</p> <p>(2) 過去事例の研究（城北公民館 保科主事）</p> <p>(3) 他市のトラブル、判例の研究（安原地区公民館 森田主事）</p> <p>(4) 貸館業務の現状について（情報共有、悩み、不安、わからないこと）</p>
5	6/13(木) 13:30～17:00 神林公民館・信州スカイパーク	26	<p>テーマ：令和元年の公民館研究集会について &「信州花フェスタ2019」視察</p> <p>1 趣旨 公民館研究集会の概要と目的（趣旨）について、新任からベテランの公民館主事まで全体で討議し、昨年度のアンケートの意見に対する対応を協議し、公民館主事会としての令和元年度集会の方向性を見出す。 長野県で初開催されている「信州花フェスタ2019」を視察し、信州の自然や風土を体感し、信州の暮らしの素晴らしさを実感する機会とする。</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>2 事務連絡 (1) 参議院選挙の個人演説会について (選挙管理委員会 藤牧課長補佐)</p> <p>3 研修 (1) 公民館研究集会 (未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い) について (地域づくり課 小川係長・中央公民館 平林主任) ア 公民館研究集会の目的 (趣旨) と経過について イ 平成30年度集会の反省をふまえた令和元年度の方向性について ウ 今後の予定 (2) 信州花フェスタ2019視察 (会場案内:公園緑地課 篠原慎介主任)</p>
6	6/27(木) 13:30~17:00 城東公民館	28	<p>テーマ:「公民館講座の作り方」</p> <p>1 趣旨 公民館で実施している講座が長期にわたり継続され、新しい講座が開設されることが少なくなっている。それに伴い、公民館主事が新規講座開設に携わることも減ってきた。また、現在1年目、2年目公民館主事が半数以上となっていて、どのように進めていけばよいのか模索している状況である。 新規講座を開設するにあたり、「地域住民の声」による開設、「各種団体との協働」による開設の2点を中心に話題提供を受け、どのように地域住民の声を吸い上げ、どのように各種団体と協力して進めていくのかを議論し、主事として今後どのように生かしていくかをまとめ、スキルアップを目指す。</p> <p>2 事務連絡 (1) 「具だくさんみそ汁コンテスト」について (中央公民館 土井主事) (2) 多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業の今年度の進め方について (中央公民館 平林主任)</p> <p>3 研修 (1) 話題提供① 「いきいき100歳体操の事例発表」(第三地区公民館主事 中條主任) (2) 話題提供② 「松原モールに対する地域の取り組み」～日常会話から生まれた地域住民の思い～ (松原地区公民館 館長 下村 純 氏 松原地区住民 曾根原 豊 氏 〃 熊木 綾 氏 前松原地区公民館主事 平林 祐介主任) (3) グループ討議「公民館講座の作り方」</p>
7	ブロック研修	35	<p>テーマ:「各ブロックでのテーマ研究」</p> <p>ブロックごと各自で設定したテーマに沿って研修会を実施する。</p>
8	7/25(木) 13:30~17:00 入山辺公民館	29	<p>テーマ:「外に出て実践に触れて学ぶ 地域の特性を活かした取り組み」</p> <p>1 趣旨 入山辺地区では地元住民が「地域をこんな風にしたい」という思いを持ち、「ここに住んで良かったと思える入山辺にしよう」と話し合いを重ね、入山辺地区の将来ビジョンを考える会(愛称:こんな山辺にするじゃん会)を結成した。 この研修では実際に外に出て住民の思いや活動に生に触れながら、地域住民自らが地域の特性を活かして思い描くビジョンを形にした事例に学び、地域の特性を活かした地域づくりをどのように展開していくのか考える。</p> <p>2 事務連絡 (1) 火の用心旗等の一時保管について (危機管理課 百瀬課長補佐)</p> <p>3 研修 (1) 話題提供「入山辺地区の将来ビジョンを考える会の活動とそれに至る経緯等」(こんな山辺にするじゃん会の皆様) (2) 実際の活動例の紹介 (こんな山辺にするじゃん会の皆様) (3) ピザ釜を使ってのピザづくり体験 (4) 全体トーク「今後の地域活動を共に考える」</p>
9	8/7(木) 13:30~17:15 庄内地区公民館	23	<p>テーマ:「自治体職員の原点としての、公民館主事の仕事を考える」</p> <p>1 趣旨 飯田市で公民館主事や公民館副館長などを歴任された木下氏から「学びに</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>基づく住民自治の伸長と住民に寄り添いながら自治を支える職員の意識づくり」など、飯田市公民館が実践してきた事例を県の教育施策なども交えながら話題提供いただき、地域自治に対する公民館や公民館主事としてのあり方を学び、考えを共有する場としたい。</p> <p>2 事務連絡</p> <p>(1) 無形文化財等データベース化事業について（文化財課 田多井課長補佐）</p> <p>(2) 庁用バスの予約に対する今後の方向性（中條幹事長）</p> <p>(3) 多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業に対する公民館主事の参画（中央公民館 平林主任）</p> <p>(4) 公民館使用許可・不許可の判断等経過報告について（岡田公民館 小林主任）</p> <p>2 研修</p> <p>(1) 話題提供「自治体職員の原点としての、公民館主事の仕事を考える」（講師：長野県生涯学習推進センター 所長 木下 巨一氏）</p> <p>(2) グループ討議</p>
10	9/5(木) 13:30～17:00 庄内地区公民館	23	<p>テーマ：公民館でもできる食品ロス削減とは何だろうか？</p> <p>1 趣旨</p> <p>現在、本市は第3期食育推進計画に基づき、市民をはじめ関係機関が主体的かつ連携して食育を推進している。公民館講座は本計画の重点事業の一つとして位置づけられ、各地区公民館でも食育事業を展開しており、その多くは「健康・伝統文化・親子」をテーマにしたものである。また、「食品ロスの削減の推進に関する法律」が5月24日の参議院本会議で全会一致で可決、成立し、本市発祥の「30・10運動」に由来する10月30日を「食品ロス削減の日」とすることが定められた。</p> <p>本主事研修会では食品ロスにフォーカスし、食品ロス削減につなげる活動をしている学生団体との交流を交え、公民館主事が食品ロスについて理解を深め、実践を通じて公民館食育事業への展開の可能性を探るものとする。</p> <p>2 事務連絡</p> <p>(1) こどもの生活習慣改善事業(まつもとっ子元気アップ事業)における親子体力向上事業について(依頼) (健康づくり課 柳澤課長補佐・甘利主事)</p> <p>(2) 地域に残る映像を活かす提案(地域づくり課 廣田課長補佐)</p> <p>(3) 事故発生時の報告書の持回りについて(中條幹事長)</p> <p>(4) 公民館使用料等の改定料金について(中央公民館 横山係長)</p> <p>(5) 第72回優良公民館表彰について(中央公民館 天野事務員)</p> <p>(6) 社会教育実習生について(中央公民館 天野事務員)</p> <p>3 新任主事の10分間相談</p> <p>4 研修</p> <p>(1) 問題提起「本市の食育推進計画と公民館事業の実態(寿台公民館 浅井主任)</p> <p>(2) 話題提供①「食品ロス削減に対する市の取り組みについて」(環境政策課 阿部主任)</p> <p>(3) 話題提供②「◎いただきます!!の活動について」 (松本大学地域づくり考房『ゆめ』◎いただきます!! リーダー：服部優花さん 副リーダー：都筑優乃さん)</p> <p>(4) 調理実習「もったいないクッキングの実践」(実践レシピ：りんごの肉巻き・りんごのタルトタタン)</p> <p>(5) 試食並びにメンバーとフリートーク</p> <p>(6) まとめと発表</p>
11	9/12(木) 13:30～17:00 中央公民館	29	<p>テーマ：「大災害 備えあれば 憂いなし?～検証!あなたの公民館」</p> <p>1 趣旨</p> <p>近年、東日本大震災、西日本豪雨など全国各地で災害が相次いでいる。松</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>本でも平成23年に中部地震、平成26年には豪雪被害などが発生しており、今後も東日本大震災に匹敵する大規模地震や、地域によっては土砂災害等が懸念されている。しかもそれはいつどこで起こるか分からない。そうした避けられない災害が起きた時に私たちはどう行動すればいいのか。今回の研修では、そうした災害の現状を現場の実体験も踏まえて学び、松本市の体制の中で、地域として、そして公民館としてどのように災害を考え、どのように備えることができるのか、すべきなのかを考える。</p> <p>2 事務連絡</p> <p>(1) 令和元年度明るい選挙啓発ポスターの掲示について(依頼)(選挙管理委員会事務局 藤牧課長補佐)</p> <p>(2) 公民館使用許可に係る経過報告書(岡田公民館 小林主任、中央公民館 横山係長)</p> <p>3 研修</p> <p>(1) 講演「大災害 備えあれば 憂いなし?～検証!あなたの公民館」(NPO さくらネット代表理事・コラボねっと取締役 石井 布紀子氏)</p> <p>(2) グループワーク「地域と地域づくりセンター(公民館)でできること～ソフト面とハード面それぞれの切り口で考えよう～」</p>
12	9/26(木)～27(金) 佐久穂町生涯学習館「花の郷・茂来館」	18	<p>第67回長野県公民館大会</p> <p>1 大会テーマ 「各地域の活動の実践に学び合い、公民館の今日的な役割を考えよう」</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 研修会「野辺山開拓と高原野菜の歴史」 JA長野八ヶ岳 南相木支店長 中島 常勝氏</p> <p>(2) 講演会「自治と健康の育み～公民館のあり方を考える～」 佐久総合病院健康管理部 医師 西垣 良夫氏</p> <p>(3) 分科会(全9分科会) [地域見学会]秩父事件跡地と奥村土牛記念館及び黒澤酒造資料館見学／カラマツ学習会と箸づくり／公民館による住民との協働・連携を考える～住民の力をどう引き出し、どう関わっていけばよいか～／子どもプログラミング講座／「郷土の偉人 五無齋記念事業に取り組んで」／備えあれば憂いなし!いきいきとシニアの時を過ごすための3つの実践／地域で子どもを育てる～子どもたちと公民館～／公民館の枠を飛び越えた!? 子ども・若者とのつながり～公民館的な活動から地元愛を引き出す～／「人生100年時代!健康で生きがいのある生活をもとめて」～古間史館おらが学級～</p>
13	10/24(木) 13:30～17:00 中央公民館	20	<p>テーマ:「人権学習「やさしい日本語」外国人住民への情報発信」</p> <p>1 趣旨 松本市には、総人口の約1.6%にあたる3,961人の外国人住民が暮らしている(平成30年12月時点)。また、平成31年4月には入管法の改正により、新たな在留資格が創設され、今後さらに外国人住民の増加が見込まれる。 昨年度主事会では「地域に住む外国人のために、公民館として何ができるか」をテーマに多文化共生社会における公民館の役割について考える研修を実施した。今年度はより実践的な内容になるよう、「外国人住民への情報発信・伝達」をテーマに「やさしい日本語」について研修を行う。</p> <p>2 研修</p> <p>(1) 講演「人権学習「やさしい日本語」外国人住民への情報発信」 丸の内ビジネス専門学校日本語教師 佐藤 佳子氏</p> <p>(2) グループワーク「防災への取組み「災害多言語表示シートについて」 人権・男女共生課 梶山主事</p> <p>3 事務連絡</p> <p>(1) 上高地小梨平キャンプ場の利用について(中條幹事長)</p> <p>(2) 公共施設予約システム新システム運用までの流れについて(中央公民館 平林主任)</p> <p>(3) 市功労者表彰について(中央公民館 天野事務員)</p> <p>(4) 令和2年松本市成人式の係員動員について(中央公民館 天野事務員)</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
14	11/7(木) 13:30～17:00 笹賀公民館	22	<p>テーマ：「主事のあり方 ～先輩主事から学ぶ～」</p> <p>1 趣 旨 公民館主事の業務（役割）や地域課題は時代の中で変化している。また、松本市公民館は1年目、2年目の公民館主事が半数以上となっており、日々の業務や地域課題を解決していくことについて不安を感じている主事も多いと思う。その不安を払拭するため、公民館や社会教育業務に携わった経験豊富な先輩達から成功例や失敗例など体験談を伺い、情報交換することで不安を払拭し各地区の主事業務を充実させていくための機会とする。</p> <p>2 事務連絡 (1) 松本市公民館運営審議会提言集について（中央公民館 横山係長）</p> <p>3 研 修 (1) 話題提供「主事のあり方～先輩主事から学ぶ～」 教育政策課 金井 稔 課長補佐 地域づくり課 廣田 圭男 課長補佐 中央公民館 横山 史樹 係長 (2) グループ討議「公民館主事の業務について」</p>
15	11/28(木) 13:30～17:00 あがたの森	22	<p>テーマ：県外視察研修事前学習</p> <p>1 趣 旨 12月12日・13日に実施される県外視察研修（国分寺市）の実施目的を明確にすると共に、国分寺市の現状等を把握し、今後の公民館活動や地域づくりに、公民館主事としてどのように生かしていくのか確認する。 今回の県外視察研修の主な学習ポイント ①「第2期 国分寺市公民館運営審議会答申」の内容と編集の経緯について ②国分寺市の公民館について 国分寺市公民館運営審議会の委員が、どのような思いを持って答申を作成したのか研究し、県外視察研修当日のポイントを確認する。また、国分寺市の答申から松本市として共有できる部分や参考となる部分をまとめ、公民館が地域の学びの拠点となれることを目指す。</p> <p>2 事務連絡 (1) 出前講座「姉妹都市の国際交流」の活用について（広報国際交流課） (2) 令和元年度松本市公民館報研修会開催要項について（中央公民館 平林主任） (3) 令和元年度9月以降風災被害・水災被害と公民館総合補償制度について（中央公民館 天野事務員）</p> <p>3 研 修 (1) 県外視察研修のねらいについて（田川公民館 床尾主査） (2) 国分寺市の概要・取組について（松南公民館 藤井主事） (3) 国分寺市公民館審議会委員の思い（中央公民館 横山係長） (4) グループ討議</p>
16	12/6(木)～7(金) 千葉県木更津市	25	<p>公民館主事会県外視察研修</p> <p>1 目 的 公民館の理念やあり方、公民館活動についての理解を深めるため、他市町村の住民や職員との活発な意見・情報交換を行い、公民館職員としての専門性を養う。</p> <p>2 テーマ 「これからの持続可能な地域づくりと公民館の役割」</p> <p>3 ねらい 近年社会経済環境の急激な変化に伴い、地域は多くの困難に直面し、コミュニティの活力は急速に失われつつある。人びとがつながり、支え合い、誰もが安心・安全に暮らせる持続可能な地域社会の構築に向けて、住民の学びと自治を支える公民館の役割が問われている。今回、都市部にありながら各中学校区に公民館を設置し、地域に根ざした公民館活動を展開している東京都国分寺市を視察し、次の2つの切り口からテーマについて考える。 (1) 国分寺市の公民館活動について (2) 「第2期国分寺市公民館運営審議会答申」の内容及び経緯について</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>4 研修内容</p> <p>(1) 1日目(会場:国分寺市本多公民館)</p> <p>ア 国分寺市・国分寺市公民館の概要</p> <p>イ 第2期国分寺市公民館運営審議会答申「国分寺のまちを学び共に創りだす公民館活動の今後について」作成の経緯・内容について</p> <p>ウ グループワーク 「サードエイジ世代の人生再設計と地域参加デビュー」 「子どもを主役とした異世代交流と地域活動の展開」</p> <p>(2) 2日目(会場:国分寺市本多公民館)</p> <p>グループワーク「国分寺市の公民館と地域づくり」</p> <p>ワールドカフェ方式で国分寺市5地区の事例及び参加職員の各公民館・地域における取組をふまえ意見交換</p>
17	12/26(木) 13:30~17:00 中央公民館	38	<p>テーマ:「新たな協働について 市民活動の実践者の思いからスタートして」</p> <p>1 趣 旨 松本の公民館は地域住民が抱える課題をもとに、多様な住民がつながり合い、学習を通じて活動実践につなげることを、住民との協働の一つの形としている。一方で、住民が地域と関わりの中で取り組むべき課題をみつけて、ボランティア団体やNPOなど市民活動団体をつくり、様々に協働する動きも見られる。 多様な協働の形がある中で、市民活動団体の具体的な思いや現在取り組む活動実践を聞き、市民活動団体がどんな活動フィールドでどんな思いを実現したいのか、それを実現する上でどのような課題があるのか、公民館と市民活動団体とで話し合うとともに、新たな連携の在り方について模索する。</p> <p>2 事務連絡 (1) 新予約システムの今後の周知方法と運用について(中央公民館 横山係長) (2) 貸館について(中央公民館 横山係長)</p> <p>3 県外視察研修の報告(白板地区公民館 岩垂主任、梓川公民館 黒田主事)</p> <p>4 研 修 (1) 地域と市民活動団体の協働について(地域づくり課 協働推進担当) (2) 実践発表 ア 松本市における市民活動の先駆的な取組について まつもと震災支援ネット、子どもが輝く食育ネットワーク松本 代表 伊藤 麻理氏 イ 地域での活動を通じNPOを立ち上げ活動している取り組みについて NPO法人 まちづくり信州 事務局 浜 由佳子氏</p>
18	1/9(木) 13:30~17:00 中央公民館	33	<p>テーマ:「塩尻市公民館職員との合同研修」</p> <p>1 趣 旨 松本市公民館主事会全体として塩尻市の公民館と交流の機会を持ち、今後のそれぞれの事業に生かすことを目的とする。また、両市公民館の関係づくりのきっかけとしたい。</p> <p>2 事務連絡・協議事項 (1) 公民館委員報償費の支払いについて(中央公民館 土井主事) (2) 「公民館使用許可・不許可の判断等経過報告書」の内容について(中央公民館 横山係長)</p> <p>3 両市代表あいさつ (塩尻市広丘公民館 折井幹事長、第三地区公民館 中條幹事長)</p> <p>4 研 修 (1) 松本市の公民館について ～公民館の体制、重点的な取組み等と事例発表～ ア 松本市公民館について(中央公民館 平林主任) イ 城北公民館における取組み(城北公民館 保科主事) (2) 塩尻市の公民館について ～公民館の体制、重点的な取組み等と事例発表～ ア 塩尻市公民館について(塩尻市中央公民館 安藤主任)</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			イ 新たな講座作りと片丘公民館の取組み（片丘公民館 瀧澤主任） ウ 専門委員会とともに講座作りを行う塩尻東公民館の取組み（塩尻東公民館 百瀬所長補佐） (3) グループ討議「各地区の取組みから自身の公民館活動を見つめる」
19	1/23(木) 13:30～17:00 松南地区公民館	28	テーマ：「町内公民館活動のてびきの改訂について」 1 趣 旨 少子高齢化による地域コミュニティの変化等を踏まえ、第6次改訂版として「町内公民館活動の手びき」が14年ぶりに改訂された。そこで、てびきの編集作業を担当した編集委員を招聘し、改訂に至った経過や編集委員会で交わされた議論の内容、活動事例の選定理由など中心に手びきが目指した町内公民館のこれからのあり方について学ぶ。また、東京大学との共同研究として進めているモデル事業についても合わせて学び、町内公民館を中心とした地域コミュニティの構築について、地区公民館がどう関わっていくかを考える機会とするもの。 2 事務連絡・協議事項 (1) コミュニティスクール事業に関わる会計処理について（中央公民館 田口係長） (2) まちづくりの集いのねらいと位置づけについて（中央公民館公民館 平林主任） (3) 新予約システムについて（中央公民館 横山係長） (4) 公民館使用許可に係る経過報告書について（中央公民館 横山係長） 3 松本市町内公民館長会 神保会長あいさつ 4 中央3ブロック主事研修会報告（庄内地区公民館 奥原主任） 5 研 修 (1) 話題提供 ア てびきの改訂について（姥貝 勇氏・白木 好雄氏） イ 庄内地区公民館での活動（庄内地区公民館委員 西口恵利子氏） (2) 東京大学との共同研究「町会単位での多世代参画型コミュニティ構築のモデル事業について」（中央公民館 平林主任） (3) グループ討議「町会単位での多世代参画型コミュニティの構築に対し、地区公民館がどう関わっていくか」
20	2/6(木) 13:30～17:00 寿台公民館	31	テーマ：「松本版コミュニティスクールについて」 1 趣 旨 松本版CSにおいて、(小・中) 学校区によっては関わる公民館に違いがあり、運営状況や事業内容も様々であるが、それらを共有する機会があまり無い。主事としての関わり方を再確認しつつ、他地区の状況等も共有する中で、次年度へ向けた新たな気づきを得たい。 2 事務連絡 (1) 信大オール写真部とのコラボ活動について（ご案内）（信州大学写真部、市民課、地域づくり課） (2) 町内公民館活動のてびき《第6次改訂版》について（中央公民館 田口係長） 3 研 修 (1) 松本版CS概要と主事の関わり方について（芳川公民館 北原主事） (2) 事例発表 ア 明善学区（寿台）のCSの状況について（寿台公民館 浅井主任） イ 鎌田地区のCSの取組みについて（鎌田地区公民館長 田中館長） (3) 話題提供「松本版CSの今後の展開について」（中央公民館 塚原主事） (4) グループワーク「自館のCSの紹介、他館の状況を聞いて感じた事、現在の課題や悩み」
21	3/19(木) 13:30～17:00 中央公民館	28	テーマ：「主事にとっての公民館研究集会とは！？～集会を振り返る～」 1 趣 旨 公民館研究集会の意義を踏まえたうえで、今年度の集会がこれまでの経過を踏まえてどのようにつくられたのかを改めて学び、今年度の集会がどうだったかを振り返る。また、主事にとって集会がどういう場であるべきか、

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>そのために来年度より良くブラッシュアップする必要があるのか、あるとすればどうしていけばいいかを考える機会とする。</p> <p>2 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 公共施設案内・予約システム再構築のサポートについて（中央公民館 平林主任）</p> <p>(2) 庁用バスの予約における契約管財課との話し合いの結果について（第三地区公民館 中條主任）</p> <p>3 全国優良公民館表彰、公民館活動推進アワード受賞報告（第三地区公民館 中條主任）</p> <p>4 第9次地方分権一括法の成立に伴う社会教育関係法の一部改正について（生涯学習課 栗田課長）</p> <p>5 研修</p> <p>(1) 今年度集会の趣旨と成果（主事への思いを含めて）（中央公民館 平林主任）</p> <p>(2) 地域づくり市民活動研究集会としての意義と成果（地域づくり課 廣田課長補佐）</p> <p>(3) グループワーク</p> <p>ア 主事にとって集会がどういう場であるべきか？</p> <p>イ 今回の集会に携わっての感想</p> <p>ウ 来年度の集会をより良いものにするために、主事として何ができるか？</p>

※ コロナウイルス感染症拡大防止のため、3/5(木)実施予定であった主事会を中止し、予定していた研修内容は3/19(木)に実施した。

2 幹事会

全12回の定例幹事会と2回の臨時幹事会を開催し、主事研修会の企画等を協議・検討した。

<主な協議事項>

4/2	平成31年度の主事会・幹事会の運営等、主事研修会企画	10/7	県外視察検討、主事研修会企画
		11/5	県外視察検討、主事研修会企画
4/15	主事研修会(前期)企画	12/2	県外視察最終打合せ、主事研修会企画
5/7	県公民館主事研修会・総会、主事会企画	1/6	主事研修会企画
6/3	主事研修会企画	2/3	主事研修会企画
7/1	主事研修会企画	3/2	主事研修会企画
8/5	主事研修会企画、主事研修会(後期)企画	3/25	令和2年度主事研修会日程等の検討
9/2	県外視察検討、主事研修会企画		

3 県・中信公運協関係、合同研修会など

- (1) 5/16～17 長野県公民館主事研修会・総会（下條村／第3回主事研修会）
- (2) 9/26～27 第67回長野県公民館大会（佐久穂町／第11回主事研修会）
- (3) 2/16 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い ～第35回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～

4 その他（親睦事業など）

4/11 歓送迎会、7/25 暑気払い、1/9 新年会（塩尻市と合同）